

みんなで考える市町村合併⑨

このコーナーは、3町（薩摩町・鶴田町・宮之城町）同じ内容で掲載しています。

▶第3回協議会風景



昨年12月25日、川内市など2市4町3村で構成する「川西薩摩地区法定合併協議会」に参加しました。このため、「祁答院の明日を考える会」は、今年1月6日、4町での法定合併協議会設置の賛否を問う住民投票に向けた手続きを開始し、同月28日には住民投票を請求できる有権

薩摩東部地区 任意合併協議会の現況

昨年10月15日発足以来、合併を進める上で必要な法定合併協議会設立準備に関するもののほか、合併後の新しい町の建設計画（まちづくり）の基礎調査・現況調査・住民アンケート調査などを順調に進めてきております。しかしながら、祁答院町における4町合併を求める

祁答院町の現状

住民発議の動きを考慮して、法定合併協議会の設立をしばらく見送り、当分の間、任意合併協議会のまま事務を進めることとなっています。

祁答院町の議会は、祁答院町の住民団体「祁答院の明日を考える会」からの住民発議による祁答院地区4町での法定合併協議会の設置議案を否決して、

者の六分の一の有効署名、644人を大きく超える1033人の署名簿を祁答院町選挙管理委員会に提出しました。

その後選挙管理委員会の審査・縦覧を経て、2月27日に住民投票の本請求がなされました。

住民投票は、選挙管理委員会が本請求があつた旨を公表した日から40日以内におこなわれることとなっており、3月30日（日）に実施することが決定されました。

投票の結果、有効投票総数の過半数の賛成があつた場合には、4町での法定合併協議会が設置されることとなります。

買い物や通勤・通学、通院など、住民の生活圏が一致しており、共通したまちづくりが展開できます。

祁答院地区4町合併の共通利点

祁答院地区4町は、地理的にも、また、これまでの交流の歴史や地域の特性からしても、共通点が多く、4町が合併することは、行政区域と生活圏がひとつになり、今まで以上に緊密な連携がとれ、住民サービスがさらに向上することが考えられます。

また、県の出先機関である川内農林事務所、川内耕地事務所が本区域内へ移転することが計画されており、本県の主要な農業地帯としての発展が期待できます。

衛生処理組合や消防組合などの一部事務組合については、合併により行政の一部局となることから、事務合理化やスピーディーな処理体制の確立ができ、今まで以上のサービスが受けられます。

生活圏域と行政区域の一体性という「強み」と恵まれた温泉などの地域資源を相乗的に活用した新たなまちづくりの展開が期待できます。

過疎化や少子高齢化、産業の振興など、共通した課題がありますが、共通した施策の展開が可能となることから、効率的な対応が期待できます。

基幹産業である農業の

